

## 参考資料

- 1 計画の策定体制
- 2 計画の策定経過
- 3 附属機関について
- 4 札幌市子ども・子育て支援ニーズ調査結果
- 5 札幌市子どもに関する実態・意識調査結果
- 6 市民ワークショップの結果
- 7 子どもワークショップの結果

# 1 計画の策定体制

## 札幌市 ～ 庁内の策定体制 ～

### 子どもの権利総合推進本部

課長会議

部長会議

本部会議  
(局長会議)

## 市民・関係者等からの意見聴取

計  
画  
案  
策  
定  
段  
階  
で  
の  
意  
見

### ■ 附属機関からの意見

#### 【子ども・子育て会議】

新・さっぽろ子ども未来プラン全般に  
ついての意見を聴取  
(平成 25 年 10 月～  
平成 27 年 3 月に開催)

#### 【子どもの権利委員会】

新・さっぽろ子ども未来プランの推進  
計画部分の意見を聴取  
(平成 25 年 9 月～  
平成 27 年 3 月に開催)

### ■ アンケート調査

#### 【子ども・子育て支援ニーズ調査】

就学前児童の保護者へのアンケート  
(平成 25 年 11 月～12 月に実施)

#### 【子どもに関する実態・意識調査】

子どもや大人へのアンケート  
(平成 25 年 12 月～  
平成 26 年 1 月実施)

### ■ ワークショップ

#### 【市民ワークショップ】

子育て家庭や子育て支援従事者等に  
よるワークショップ  
(平成 25 年 12 月～  
平成 26 年 1 月に実施)

#### 【子どもワークショップ】

小学校 5 年生～高校 2 年生までのこ  
どもによるワークショップ  
(平成 26 年 7 月に実施)

計  
画  
案  
へ  
の  
意  
見

### ■ パブリックコメント・キッズコメントの実施

#### 【パブリックコメント】

計画案を市民に公表し、広く意見を募  
集  
(平成 27 年 1 月～2 月に実施)

#### 【キッズコメント】

計画案の子ども向けパンフレットを  
全小中学校に配布し、意見を募集  
(平成 27 年 1 月～2 月に実施)

## 2 計画の策定経過

実施時期	札幌市の主な動き	市民・関係者等からの意見聴取
平成 25 年		
9 月 12 日		第 2 期子どもの権利委員会（第 9 回）
10 月 10 日		第 1 回子ども・子育て会議
10 月 29 日		第 2 期子どもの権利委員会（第 10 回）
11 月 20 日 ～12 月 6 日		子ども・子育て支援ニーズ調査
12 月 13 日		第 2 回子ども・子育て会議
12 月 20 日 ～1 月 15 日		子どもに関する実態・意識調査
12 月 22 日		市民ワークショップ（1 回目）
平成 26 年		
～1 月 12 日		市民ワークショップ（2 回目）
1 月 26 日		市民ワークショップ（3 回目）
2 月 6 日		第 3 期子どもの権利委員会（第 1 回）
2 月 26 日		第 3 回子ども・子育て会議
3 月 13 日		第 4 回子ども・子育て会議
4 月 22 日		第 3 期子どもの権利委員会（第 2 回）
5 月 15 日		第 5 回子ども・子育て会議 第 3 期子どもの権利委員会（第 3 回）
6 月 9 日		第 6 回子ども・子育て会議
6 月 27 日		第 3 期子どもの権利委員会（第 4 回）
7 月 29 日		子どもワークショップ
8 月 22 日	子どもの権利総合推進本部(課長会議)	
9 月 4 日	子どもの権利総合推進本部(部長会議)	
9 月 8 日		第 3 期子どもの権利委員会（第 5 回）
9 月 25 日		第 7 回子ども・子育て会議
10 月 6 日		第 3 期子どもの権利委員会（第 6 回）
10 月 24 日		第 8 回子ども・子育て会議
10 月 31 日		第 3 期子どもの権利委員会（第 7 回）
11 月 13 日	子どもの権利総合推進本部(課長会議)	
11 月 27 日		第 9 回子ども・子育て会議
12 月 4 日	子どもの権利総合推進本部兼企画調整 会議幹事会（部長会議）	
12 月 17 日	子どもの権利総合推進本部兼企画調整 会議（局長会議）	
平成 27 年		
1 月		札幌市議会文教委員会へ報告
<b>計画案の決定</b>		
1 月～2 月		パブリックコメント
3 月		第 10 回子ども・子育て会議 第 3 期子どもの権利委員会（第 8 回）
3 月	市長副市長報告	
<b>計画の策定・公表</b>		

### 3 附属機関について

#### 札幌市子ども・子育て会議

本会議は、札幌市の子ども・子育て支援に関する協議のために、「札幌市子ども・子育て会議条例」に基づき設置された附属機関です。子育て当事者や子ども・子育て支援に携わる関係者、学識経験者などから構成されています。会議では、計画案について幅広く意見交換をしていただきました。

また、本会議には、特定の分野を専門的かつ効率的に審議するため、「認可・確認部会」及び「放課後児童健全育成事業部会」を設置しています。

#### 【委員名簿】（五十音順、敬称略、平成27年〇月〇日現在）

	氏名	所属等	所属部会 ◎は部会長
会長	金子 勇	神戸学院大学現代社会学部教授	
副会長	佐藤 淳	北海学園大学経営学部教授	
委員	石田 あやこ	公募委員	放課後
	大久保 薫	さっぽろ地域づくりネットワークワン・オールセンター長	
	岡田 光子	北海道子育て支援ワーカーズ代表理事	
	小野 志美	札幌市私立保育園連盟副会長	
	加藤 欽也	札幌商工会議所政策委員長	
	齋藤 寛子	公募委員	認可・確認
	品川 ひろみ	札幌国際大学短期大学部教授	認可・確認◎
	芝木 捷子	札幌市私立幼稚園連合会理事	
	柴田 田鶴子	川沿あすなろ児童育成会副代表	放課後
	下村 勝子	札幌市民生委員児童委員協議会 札幌市主任児童委員連絡会代表幹事	
	末岡 裕文	札幌市医師会理事（地域社会部長）	
	須藤 桃代	北海道科学大学保健医療学部教授	放課後◎
	坪谷 哲雄	札幌市私立保育園連盟会長	認可・確認
	中井 由紀子	札幌市PTA協議会理事	放課後
	ニコルス 哲子	公募委員	認可・確認
	秦 直樹	札幌市児童養護施設協議会会長	
	林 進一	札幌市清田区青少年育成委員会連絡協議会議長	放課後
	平野 直己	北海道教育大学札幌校准教授	
	平野 博宣	連合北海道札幌地区連合会事務局長	
	前田 元照	札幌市私立幼稚園連合会会長	認可・確認
三井 有希子	全国認定こども園協会北海道地区会副代表	認可・確認	
山田 暁子	札幌弁護士会弁護士	認可・確認	
渡辺 元	札幌市小学校長会事務局次長	放課後	

### 【子ども・子育て会議の開催状況】

	開催日	主な協議内容
第1回	平成25年10月10日	○子ども・子育て支援ニーズ調査の実施について
第2回	平成25年12月13日	○部会の設置について ○新計画の策定方針について
第3回	平成26年2月26日	○各部会で検討した子ども・子育て支援新制度下における各種基準案について
第4回	平成26年3月13日	○札幌市の子どもの施策の課題について ○新計画の施策体系案について（第3章関係）
第5回	平成26年5月15日	<第5回のみ> ○保育の必要性の認定に係る就労下限時間の設定について
第6回	平成26年6月9日	<第5回、第6回、第7回> ○教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保について（第5章関係）
第7回	平成26年9月25日	○教育・保育施設及び地域型保育事業に係る利用定員の設定の基本的な考え方について
第8回	平成26年10月24日	○計画素案について
第9回	平成26年11月27日	
第10回	平成27年3月	○市民意見の報告について

### 【認可・確認部会の開催状況】

	開催日	主な協議内容
第1回	平成26年1月30日	○子ども・子育て支援新制度下における各種基準案の検討について（放課後児童健全育成事業に係る基準案を除く）
第2回	平成26年2月18日	
第3回	平成26年9月25日	○既存教育・保育施設に係る利用定員の設定案について
第4回	平成26年10月24日	<第4回のみ>
第5回	平成26年11月27日	○幼保連携型認定こども園の認可について
第6回	平成27年1月16日	<第4回、第5回、第6回> ○教育・保育施設及び地域型保育事業に係る利用定員の設定について

### 【放課後児童健全育成事業部会の開催状況】

	開催日	主な協議内容
第1回	平成26年1月31日	○子ども・子育て支援新制度下における放課後児童健全育成事業に係る基準案の検討について
第2回	平成26年2月18日	

## 札幌市子どもの権利委員会

本会議は、札幌市における子どもの権利に関する施策の充実を図るとともに、子どもの権利の保障の状況を検証するために、「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例」に基づき設置された附属機関です。子どもの権利の保障に携わる学識経験者や関係者、高校生を含む公募委員などから構成されています。会議では、新・さっぽろ子ども未来プランにおける推進計画部分（第4章—基本目標1）について幅広く意見交換をしていただきました。

### 【委員名簿】（五十音順、敬称略、平成27年〇月〇日現在）

氏名		所属等
委員長	千葉 卓	北海学園大学名誉教授
副委員長	土佐林 仁	札幌市中学校長会事務局次長
委員	大川 哲也	札幌弁護士会子どもの権利委員会委員
	梶井 祥子	札幌大谷大学教授
	北本 義和	札幌市小学校長会事務局長
	木村 あおい	公募委員
	清水 一江	札幌市PTA協議会副会長
	鈴木 利勝	札幌市民生委員児童委員協議会理事
	巽 佳子	公募委員
	豊田 直美	公募委員
	西井 健治	公募委員
	秦 直樹	札幌市児童養護施設協議会会長
	深堀 麻菜香	公募委員
	三河 侑矢	公募委員

### 【子どもの権利委員会の開催状況】

	開催日	主な協議内容
第2期 第9回	平成25年9月12日	○子どもに関する実態・調査の実施について
第10回	平成25年10月29日	
第3期 第1回	平成26年2月6日	○審議事項の確認及び今後のスケジュールについて
第2回	平成26年4月22日	<第2回～第7回> ○次期子どもの権利に関する推進計画について <第3回のみ> ○子どもの権利条例に基づく平成25年度の取組状況報告について
第3回	平成26年5月15日	
第4回	平成26年6月27日	
第5回	平成26年9月8日	
第6回	平成26年10月6日	
第7回	平成26年10月31日	
第8回	平成27年3月	

## 4 札幌市子ども・子育て支援ニーズ調査結果

### 調査概要

#### 1 調査目的

「新・さっぽろ子ども未来プラン」の策定に向けて、事業量の目標設定に必要な幼児期の学校教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の利用の現状・希望を把握するとともに、市民の子育てに関する生活実態や要望・意見などを把握するために実施。

#### 2 調査対象

住民基本台帳（平成 25 年 10 月 1 日現在）から無作為に抽出した、就学前児童（5 歳以下）の保護者 15,000 人

#### 3 調査期間

平成 25 年 11 月 19 日～12 月 6 日

#### 4 有効回答数

6,208 件（有効回答率 41.4%）

#### 5 調査方法

調査票を郵送し、返信用封筒で回収

#### 【参考】子育ての環境や支援に関する意見内訳（自由記述）

特に意見の多かった上記 10 項目は次のとおりです。

順位	意見の分類	件数
1	待機児童の解消（保育所や認定こども園の整備等）	253
2	子育てサロン	131
3	屋内型の遊び場の整備	129
4	保育所・幼稚園の保育料	123
5	一時保育（病児・病後児保育以外）	120
6	相談対応	112
7	子育て支援等に関する情報提供	96
8	バリアフリー化（公共空間・交通機関、ベビーカー貸出等）	94
9	ワーク・ライフ・バランス（産休・育休・短時間勤務等）	90
10	同世代・異世代・地域内等の交流	73

※本調査に係る個別の調査結果については、札幌市のホームページ <http://www.city.sapporo.jp/kodomo/jisedai/needs.html> に掲載しています。

本計画においては、第 2 章の「札幌市の子ども・子育て現状」に掲載している各種データのうち、資料「札幌市子ども・子育て支援ニーズ」と掲載されたデータが、本調査に基づく結果の一部になります。

## 5 札幌市子どもに関する実態・意識調査結果

### 調査概要

#### 1 調査目的

札幌市における子どもの実態や、子どもを含む市民の意識を把握し、子どもの権利の推進に関する計画策定の基礎資料とすることを目的として実施。

#### 2 調査対象

住民基本台帳（平成 25 年 11 月 1 日現在）から無作為に抽出した、【大人用】（19 歳以上）：5,000 人、【13 歳から 18 歳用】：3,397 人、【10 歳から 12 歳用】：1,603 人の計 10,000 人

#### 3 調査期間

平成 25 年 12 月 20 日～平成 26 年 1 月 15 日

#### 4 有効回答数

【大人用】（19 歳以上） 1,687 件（有効回答率 33.7%）

【13 歳から 18 歳用】 1,098 件（有効回答率 32.3%）

【10 歳から 12 歳用】 770 件（有効回答率 48.0%）

#### 5 調査方法

調査票を郵送し、返信用封筒で回収

※本調査に係る個別の調査結果については、札幌市のホームページ <http://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/plan.html#tyousa> に掲載しています。

本計画においては、第 2 章の「札幌市の子ども・子育て現状」に掲載している各種データのうち、資料「札幌市子どもに関する実態・意識調査」と掲載されたデータが、本調査に基づく結果の一部になります。



## 6 市民ワークショップの結果

### 札幌の子育てを考える連続ワークショップの概要

新・さっぽろ子ども未来プランの策定にあたり、子育て中の札幌市民や、子育て・子育て支援を行っている方々の子育て・子育て支援に関する本音を引き出すとともに、市民目線から課題解決の方策を探るため、ワークショップを開催しました。

#### 1 参加者

子育て当事者や子ども・子育て支援に携わる関係者、学生などの計 30 名。

#### 2 各回の実施日・内容

##### 第1回「子育ての不安や課題を話し合おう！」

■日時：平成 25 年 12 月 22 日（日）14 時～17 時

■目的：子育てをする中で感じている不安や課題の抽出

■実施概要：

5 グループに分かれ「子育てをする中で感じている不安や課題」について抽出

##### 第2回「課題の解決策を考えよう！」

■日時：平成 26 年 1 月 12 日（日）14 時～17 時

■目的：子育てに関する課題を解決する取組のアイデアの抽出

■実施概要：

- ・前回出された 5 つの「子育てに関する課題」をそれぞれ 5 つのグループに割り当て、これらの課題を解決するために考えられる取組のアイデアを抽出。
- ・グループワークは、前回同様のグループメンバーで割り当てられた課題について検討する Round 1、自分の興味のあるテーマのテーブルに移動して検討する Round 2 の 2 ラウンド実施した。

##### 第3回「子育てしやすいまちづくりのために、何が重要か考えよう！」

■日時：平成 26 年 1 月 26 日（日）14 時～17 時

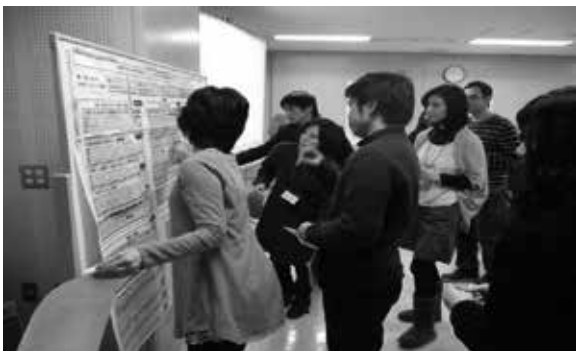
■目的：特に重要だと考える取組（重要プロジェクト）を抽出すること  
「重要プロジェクト」を具体化する方策について検討すること

■実施概要：

- ・前回出された「取組のアイデア」の中から「重要プロジェクト」を決めるため、参加者がシールで投票。
- ・「重要プロジェクト」（投票結果が 5 位以内のもの）について 5 つのテーブルに割り当て、参加者は自身の興味のあるテーブルに移動。「重要プロジェクト」を具体化するための方策について検討した。

### 3 ワークショップの最終意見概要

重要プロジェクト名	主な意見
病児・病後児の 預かりサービス プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども緊急サポートネットワークの認知度を上げて拡大していくことが必要。</li> <li>・必要な時にすぐに預けられることが大切（お金をとるサービスであればいつでも預けられるようにしてほしい）。</li> </ul>
みんなが参加できる （協力したい人も集まる） 子育てサロンをつくろう！！ プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催場所や開催回数が多いほうがよい。</li> <li>・保育スタッフが子どもと遊ぶなど、母親がリラックスできる時間を設けるべき。</li> <li>・ボランティア等で多様な人に参加してもらい仕組みをつくるのが大切。</li> <li>・サロンの情報をもっと積極的に発信していくべき。</li> </ul>
子育て中の親に関する 労働規制を設ける プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク・ライフ・バランス認証制度のPRの強化などを積極的に行うべき。</li> <li>・企業の就労制度の見直しや休暇の義務化について、行政の働きかけが必要。</li> <li>・育休復帰後のキャリアアップのためのプログラムを設ける。</li> </ul>
君も明日から親になる！！ ～仲良しパパママクラブ～ プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親育てのための教室・教育機会を増やすべき。</li> <li>・お年寄りなど、子育て経験が豊富な人の話を聞きたい。</li> <li>・親となる全員が参加できるように取組の広報強化が必要。</li> </ul>
地域に共生の場を設ける プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の中に「障がい」「子ども」「高齢者」の枠を超えた「共生型ひろば」を設け、互いに支えあう環境づくりが重要。</li> <li>・多様な人を集めるためには、地域コーディネーターが必要。</li> <li>・町内会など、まちの情報を持つ人たちと行政がもっとつながり、互いにスキルアップしていく必要がある。</li> </ul>



※ワークショップの詳細結果は、札幌市のホームページ <http://www.city.sapporo.jp/kodomo/jisedai/needs.html> に掲載しています。

## 7 子どもワークショップの結果

### 子ども企画委員会「ぼくらの未来を考えよう！」委員会の概要

新・さっぽろ子ども未来プランの策定にあたり、子どもの意見を聞くため、子ども企画委員会「ぼくらの未来を考えよう！」委員会を設置し、小学5年生から高校生を対象に公募で集まった子どもたちと意見交換を行いました。

意見交換では、子どもたちを3グループに分け、それぞれテーマを「子どもの権利」「子育てしやすいまち」「放課後や休日の居場所、体験活動」としました。各グループでは、最初に職員から現状を説明し、テーマに対する問題点や課題について話し合いを行いました。

次に、こうなしてほしい札幌の未来について話し合いを行い、そのために子どもたち自身ができること・すべきことや、大人や市にしてほしいことについて話し合いの結果をまとめました。

#### 1 参加者

小学5年生から高校2年生までの14名。

参加者の募集は、チラシを作成し、各学校や区役所などの公共施設へ配布。

#### 2 実施日

平成26年7月29日（火）10時～15時

#### 3 結果概要

##### (1) 現状

##### ○ 子どもの権利

- ・ 子どもの権利について
- ・ アンケート「子どもの権利が守られているか？」の結果について
- ・ 権利条例の認知度について

##### ○ 子育てしやすいまち

- ・ 札幌市の子育て施策について
- ・ アンケート「子育てに楽しさと大変さのどちらを感じるか？」の結果について
- ・ ワーク・ライフ・バランスについて

##### ○ 放課後や休日の居場所、体験活動

- ・ 体験活動の内容について
- ・ アンケート「札幌は体験しやすい環境か？」の結果について
- ・ アンケート「放課後や休日の過ごし方」の結果について



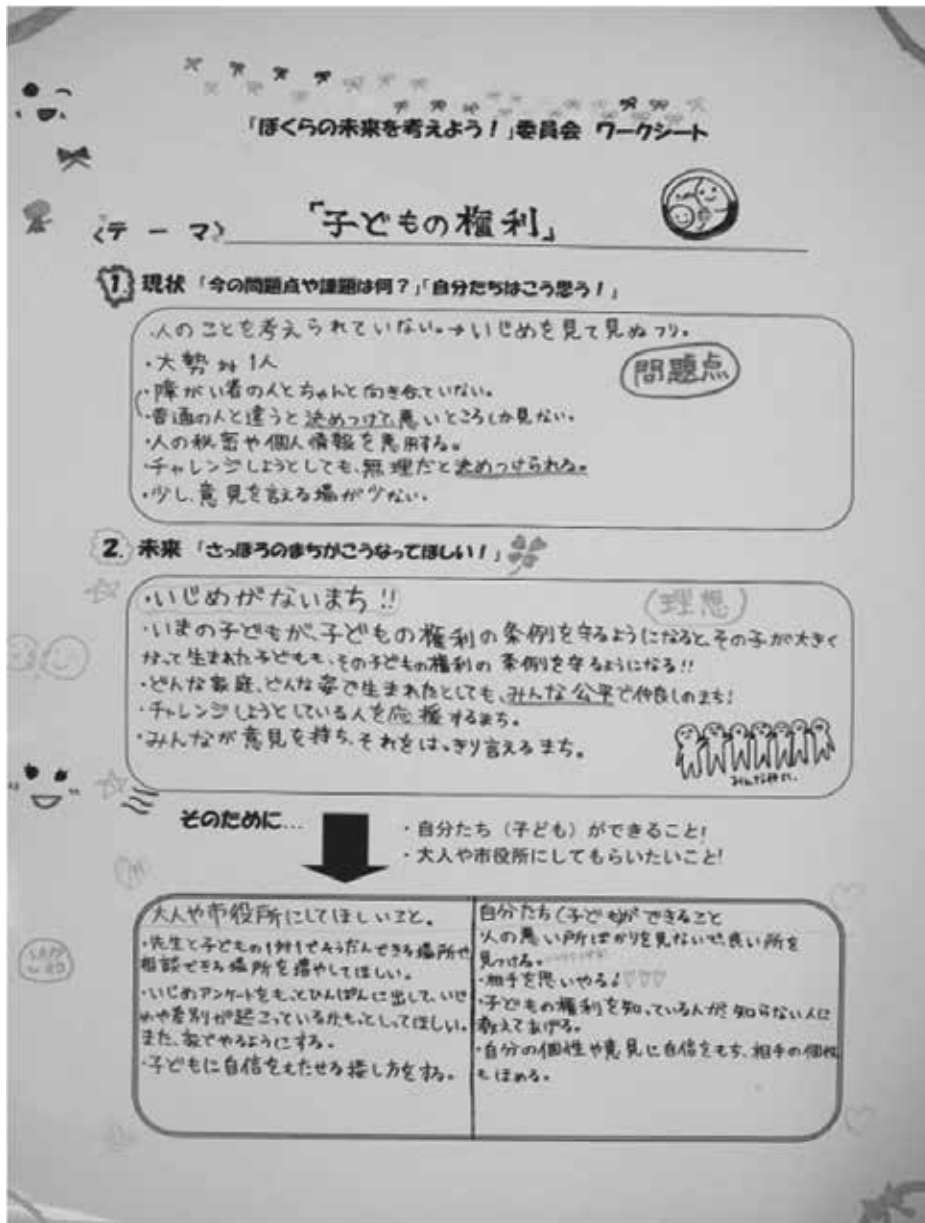
(2) 子どもからの意見の概要

○ 子どもの権利

「主な意見」

- ・ 権利条例は知らないが、パンフレットは見たことがあるし、アシストセンターは知っている。
- ・ 自分がというわけではないが、いじめはあると思う。いじめられている人を見てもなかなか声をかけるのは難しい。自分がいじめられてしまうと感じるので、そこは大人になんとかしてほしい。安心して生きる権利は、守られていないことが多いと思う。
- ・ 自分らしく生きる権利が守られて、個性が尊重されるといじめる人もいなくなると思う。
- ・ グループ内には塾に行っている子どもが一人もいなかったが、まわりには毎日習い事に行ったり、塾に行っている人も結構いる。豊かに育つ権利については、守られていると思う。
- ・ 生徒会や学級会など、学校で意見を言える機会はあるが、もう少し増えるといいと思う。
- ・ 今日のように、違う学校や学年の人と話したりする機会が増えるといいと思う。

「まとめた内容」



## ○ 子育てしやすいまち

### 「主な意見」

- ・ 子育て中の人重いものを持っているなど、困っているときに助けてあげるとよい。
- ・ 小さい子どもと積極的に関わるようにする。
- ・ 公園などで親と小さい子が遊んでいるときに、その子どもと遊んであげると親の負担を減らすことができると思う。そうして近所の人との関わりを深める。
- ・ 子育てを経験した人がアドバイスできるようにする。
- ・ 1か月に1回は、親が子どもとたくさんふれ合える日をつくるようにする。
- ・ 子どもを安心して預けることができる環境をつくる。
- ・ 雑誌や地下鉄の広告などで子育てのサービスや施設について情報発信をする。

### 「まとめた内容」

「ほくらの未来を考えよう！」委員会 ワークシート

★  
テーマ 子育てをしやすい街札幌 ★

1. 現状「今の問題点や課題は何？」「自分たちはこう思う！」

- ・ 子育てについての情報不足
- ・ 安心して遊べる所不足
- ・ 子育てへの関心X
- ・ 近所でのつながり
- ・ ワークライフバランスも保つ

2. 未来「さっほろのまちがこうなってほしい！」

- ・ 子育てをしている人だけでなく地域の人にも関心を持ってもらう
- ・ 親のストレス軽減
- ・ のびのびと遊んで学校でも楽しめる
- ・ ワークライフバランスによって親も好きなことができる

そのために...

- ・ 自分たち（子ども）ができること
- ・ 大人や市役所にしてもらいたいこと

**大人**

- ・ 情報の提示（もとみんなにわがてもらう）
- ・ 安心・安全の確保（遊具と見守ってくれる人）
- ・ 地域内の協力（その人に合った協力）

**子供**

- ・ 小さい子供と積極的なコミュニケーションをとる

○ 放課後や休日の居場所、体験活動

「主な意見」

- ・ 放課後や休日に学校の図書館を開放してほしい。
- ・ 学校のグラウンドや体育館でイベントをひらいてほしい。
- ・ 公園でバーベキューができるなど、自由に使えるようにしてほしい。
- ・ 地域の人と関わることが増え、仲良くなると、犯罪が少なくなり、安心してすごせる。あいさつが大事。
- ・ 外でもゲームをしている子どもが多いので、公園で体を動かして遊ぶようにすればいい。
- ・ 違う年代の人とふれ合う機会が少ないので、そうした機会を増やしてほしい。
- ・ 札幌は四季がハッキリしているので、それを生かして地域のイベントなどをするとよい。

「まとめた内容」

